



Singapore




Chris Lee/Asylum

Creative Director  
[www.theasylum.com.sg](http://www.theasylum.com.sg)  
[ubies.net/chris-lee](http://ubies.net/chris-lee)

アジアでも尊敬を集めるクリエイティブ企業のひとつ、Asylumの創設者兼クリエイティブディレクター。Asylumが生んだ作品は100を超える国際賞を獲得している。



ubies Interview Exchange Project.

# ASIAN CREATIVES

Featuring Singapore

監修・庄野 裕真 / ubies  
 インタビュー・コーディネイト・矢部幹治 / ubies  
 文・Justin Zhuang (English)、山内宏泰 (Japanese)



発行：バイインターナショナル

シンガポールのキーパーソン、クリス・リーに聞くシンガポール、そしてアジアのクリエイティブのいま、そして未来。

個人的な営みとしてデザインに関わるタイプが増えている

1999年にスタジオ「Asylum」を設立して、シンガポールを拠点にデザイナーとして活動を続けてきました。わたしたちよりも上の世代のシンガポールのデザイナーは、コマース・デザインや政府、銀行向けのC1などを手がけることが多かった。わたしたち90年代に出てきた世代からは、コマースに加え、自身の作品制作にも力を入れて、個性を強く発揮するようになったのだと思います。さらに若い世代になると、自らやりたいと思うプロジェクトだけを手がけたりと、より個人的な営

みとしてデザインに関わるタイプが増えているようです。自身のクリエイティブに、より忠実になってきているのは心強いし、いいことだと思います。ただし、それで果たして仕事としてうまく回していけるかどうか、不安なところも見え隠れしますね。

### 国際感覚あふれるシンガポール・デザイン

わたしのスタジオ「Asylum」は、国内のクライアントに向けてブランディングやインテリア・デザインなどを行っているのが仕事の中心。このところは、ジャカルタ、ソウル、そして上海などアジア各地にクライアントが拡大してきました。うちに限らず、シンガポールのデザインはとも国際的な感覚にあふれていて、地域を越えず理解される強みがあると思っています。さじょうのは、シンガポールという土地がそ

### 世界に出るための文化的強みがある

そういった特長を持っているにもかかわらず、国内の才能が思うように国際的な場で評価されていないのは少し残念です。もっとアピールを重ねなければいけない。そのために、クリエイティブ業界に関わるシンガポールの人々、若手デザイナーを結びつけ、世界に出ていく足がかりを得られるよう、教育の強化やデザイン美術館の設立などをして、将来へつなげていきたい。そうすれば、シンガポールはアジアのクリエイティブの中心地にもなり得るはず。タイ、インドネシア、韓国や日本といった国は、従来の文化や言語が根強くあって、国際的な存在になり切れないのが現状でしょう。一方、シンガポールは、国の規模や成り立ち、言語的な特長から、アジア・パシフィック代表として世界と直接つながる可能性を秘めているのです。

— Interview Exchange from ASIAN CREATIVES — 山内宏泰 熱くするアジアクリエイティブ50人

